

農業経営課農業革新支援グループ
農業試験場病害虫防除所

キウイフルーツかいよう病に対する冬期防除の徹底について

1 月 23 日から気温が平年よりかなり低くなる可能性があるとして低温に関する異常天候早期警戒情報が発表されています。また、1 か月予報においても向こう 1 か月の気温は低い見込みです。低温が続くと凍霜害により樹が傷つき、本病の発生を助長する可能性があります。

対策としては、以前、技術情報として発表している「キウイフルーツかいよう病に対する防除について<収穫後から発芽前まで>」を参考に冬期防除の徹底と圃場の観察を行うようにしてください。

特に発生園地においては、落葉後から発芽前までに 3～4 回はコサイド 3000 (2,000 倍) を散布して感染拡大の防止を図りましょう。また、未発生園地においては、落葉後と剪定後に 2 回は銅剤による防除を行うようにしましょう。

添付ファイル

- ・キウイフルーツかいよう病対策（収穫後から 発芽前まで）
- ・キウイフルーツかいよう病について（改訂版）
- ・異常天候早期警戒情報の写し